

会 議 録

会議録	山陽小野田市公民館運営審議会（第1回）
開催日時	令和元年11月25日(月) 14時～15時30分
開催場所	厚狭地区複合施設 2階 第2研修室A・B
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・運営審議会委員11名 (岡本会長 千々松副会長 丸田委員 大本委員 平野委員 坂本委員 長谷川委員 高橋委員 平中委員 小戸委員 長谷委員) ・事務局20名 (長谷川教育長 尾山教育部長 河上中央公民館長 高良学校教育課主幹 池田社会教育課長補佐 安藤社会教育係長 柿並中央公民館主任 山根本山公民館長 中野赤崎公民館館長 柴田須恵公民館長 井本小野田公民館長 姫井高泊公民館長 谷岡高千帆公民館長 山下有帆公民館長 江中厚狭公民館長 能勢出合公民館長 阿武厚陽公民館長 佐々木埴生公民館長)
欠席者	4名（大森委員、林委員、川空委員、森本委員）
担当課	中央公民館
会議次第及び結果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 辞令交付 2. 教育長あいさつ 3. 会長・副会長選出 4. 会長・副会長あいさつ 5. 委員自己紹介 6. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 消費税増税に伴う公民館使用料の改定について (2) -① 現代社会における、地域課題、国民の意識調査に関する報告等 (2) -② 山陽小野田市の目指す公民館運営について 7. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 各公民館からの活動報告（上半期）
会議結果	<p>○報告事項</p> <p>(1) 消費税増税に伴う公民館使用料の改定について 中央公民館から、令和元年10月1日に消費税率が8%から10%に引き上げられたことに伴い、公民館の使用料を一部改定したことについて、資料をもとに説明した。</p> <p>(2) -① 現代社会における、地域課題、国民の意識調査に関する報告等 中央公民館から、平成30年12月21日に中央教育審議会で行きまとめられた答申「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策」で出された資料、「地域を取り巻く環境の変化」をもとに、人口減少社会における地域での課題、特に20年後に地域を支える子ども達が直面する課題に対しての社会教育の役割について説明した。また、「生涯学習に関する国民の意識等」の資料をもとに、</p>

地域住民の学習意欲や学習したい内容、地域社会への活動参加等について資料をもとに説明した。

(2) -② 山陽小野田市の目指す公民館運営について

本市の目指す公民館像及び公民館における重点目標について説明した。公民館長が第2コーディネーターとして学校・家庭・地域の連携を推進し、地域課題解決に向けた取組みや、各館で人づくり・地域づくりにつながる取組みを今後も実施していく旨を説明した。

○議題

(1) 中央公民館から説明を行った後、各公民館長から地域の課題解決に向けた取組や、人づくり・地域づくり・学校づくりに向けた取組について事業報告書をもとに説明し、承認された。

委員からは、以下の4つの意見・質疑を頂いた。

- 1 公民館利用者固定化の解決に向けての取組、特に若い世代を対象としている須恵公民館でのハーバリウム教室や出合公民館・埴生公民館での子育て教室など、今後の自館での取組の参考となった。
- 2 厚狭公民館主催講座：厚狭人ダイアログでの参加人数について生徒160名の参加は非常に多い。苦慮されていると思うが詳細を教えてください。
⇒キャリア教育の一環として中学校で行う講座。地域住民40名を含む人数となっている。人生の先輩である地域の方と語り合う中で、これからの自分の将来について具体的に考えていくという時間をとったもの。
- 3 須恵公民館は、利用者が固定化しているため、夜の公民館講座を今後予定しているということでしょうか。
→若い世代の獲得に向け、夜の講座や土日の講座を今後増やしていく予定。
- 4 外部講師ではなく、地域住民を講師として招き、人と人とを結びつけることに公民館が機能されることは非常に重要なこと。また埴生公民館の外国人との文化交流事業については、障害を持った方や子育て世代、外国人など多様な人がいる社会の中で、皆が支い合っていく社会づくりを公民館が先進的に実践している。今後の参考となった。